

平成29年度補助金等評価取組状況調

補助金番号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の改革の方向性	意見	見直し方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
1	防災安全課	薩摩川内市防衛協会補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・防衛協会の的確な事業運営について支援していきたい。 【減額の理由】 ・会費収入増額の見込みによるもの。	300	280	▲ 20	0	▲ 20
2		青色灯自主防犯活動事業補助金	現状のまま継続	・本防犯活動による効果を見極め、将来的に補助金額の上限を設けるなど検討されたい。	現状のまま継続	・防犯活動と犯罪発生件数の推移とを考慮して、補助金の上限を設けることの可否について検討したい。 【増額の理由】 ・青色灯自主防犯パトロール活動団体新規加入の見込みによるもの。	966	1,029	63	0	63
3		定住住宅取得補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・本事業による定住者数を把握するなど、補助金の効果を精査されたい。	縮小:見直しの上で継続	＜見直し方針＞ ・丙地域を廃止し甲乙地域は継続。 ・子育て加算を廃止。 ・市内業者利用のみを対象とし、市内業者加算は廃止。 ＜見直し方針の理由と意見に対する回答＞ 薩摩川内市の人口、転入実態、制度利用実態、アンケート調査等から見えてきた転入地偏重を踏まえ、自然発生的に人口流入がある丙地域への補助を廃止し、市内業者の育成や経済支援を目的として設置した市内業者加算は廃止し、市内業者利用のみを対象とすることでその目的の達成を図ることとした。 また、子育てしやすい環境づくりの施策を別途拡充していくことで、転入施策としての子育て加算は廃止することとした。 【減額の理由】 ・丙地域の廃止、子育て加算の廃止、市内業者利用のみの対象となるため対象経費の減となる。	15,000	8,000	▲ 7,000	▲ 7,000	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるも の	その他の要因 によるもの
4	企画政策課	定住住宅リフォーム補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・本事業による定住者数を把握するなど、補助金の効果を精査されたい。	縮小:見直しの上で継続	＜見直し方針＞ ・丙地域を廃止し甲乙地域は継続。 ・子育て加算を廃止。 ・市内業者利用のみを対象とし、市内業者加算は廃止。 ＜見直し方針の理由と意見に対する回答＞ 薩摩川内市の人口、転入実態、制度利用実態、アンケート調査等から見えてきた転入地偏重を踏まえ、自然発生的に人口流入がある丙地域への補助を廃止し、市内業者の育成や経済支援を目的として設置した市内業者加算は廃止し、市内業者利用のみを対象とすることでその目的の達成を図ることとした。 また、子育てしやすい環境づくりの施策を別途拡充していくことで、転入施策としての子育て加算は廃止することとした。 【減額の理由】 ・丙地域の廃止、子育て加算の廃止、市内業者利用のみの対象となるため対象経費の減となる。	8,000	3,500	▲ 4,500	▲ 4,500	0
5		新幹線通勤定期購入補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・本事業による定住者数を把握するなど、補助金の効果を精査されたい。 ・新幹線以外の交通機関での通勤や南九州自動車道を含めた高速道路の通行料に対する補助など、より定住促進につながる方法を柔軟な発想で多角的に検討されたい。	現状のまま継続	・現行制度で効果が見込まれるため制度継続。	3,540	3,540	0	0	0
6		薩摩川内市ゴールド集落定住促進補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・特になし。	廃止	・廃止済み。	6,600	0	▲ 6,600	▲ 6,600	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるも の	その他の要因 によるもの
7		薩摩川内市ゴールド 集 落 定 住 住 宅 取 得 補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・本事業による定住者数を把握するなど、補助 金の効果を精査されたい。 ・ゴールド集落へ移住した者の目的や意図を把 握されたい。 ・郷土出身者が集まる場などで本事業をPRされ たい。	廃止	・薩摩川内市の人口、転入実態、制度利用実態 を踏まえ、また、制度利用者を対象としたアン ケート調査から、本補助制度がゴールド集落へ の転入・転居を促進する効果が低い結果が見ら れたため、本補助制度を廃止する。	7,900	0	▲ 7,900	▲ 7,900	0
8		薩摩川内市ゴールド 集 落 定 住 住 宅 リ フォーム補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・本事業による定住者数を把握するなど、補助 金の効果を精査されたい。 ・ゴールド集落へ移住した者の目的や意図を把 握されたい。 ・郷土出身者が集まる場などで本事業をPRされ たい。	廃止	・薩摩川内市の人口、転入実態、制度利用実態 を踏まえ、また、制度利用者を対象としたアン ケート調査から、本補助制度がゴールド集落へ の転入・転居を促進する効果が低いことが見ら れたため、本補助制度を廃止する。	2,400	0	▲ 2,400	▲ 2,400	0
9		空き家改修支援事業 補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・本事業について、多様な組み合わせやビジネ ス的な用途を検討されたい。	廃止	・これまで利用実績が少なかった本事業を廃止 し、別途地域自らが空き家等を活用した地域へ の移定住促進を図る活動に対して支援する制度 を設置することとする。	3,400	0	▲ 3,400	▲ 3,400	0
10	新エネ ルギー 対策課	次世代エネルギー事 業推進補助金	縮小:見 直しの 上で継続	・補助期間3年は堅持しながら、補助率を下げる など先を見据えた補助金の縮小を検討されたい。 ・本補助金がなくても事業者は事業を実施できる のではないかという意見もあった。	縮小:見 直しの 上で継続	・平成29年度以降は継続分のみを補助金交付 することとし、平成30年度をもって廃止すること とした。	5,000	5,000	0	0	0
11	コミュニ	防 犯 灯 設 置 費 補 助 金	現状のま ま継続	・通り会などが管理するものを除く防犯灯の電気 料金、経費等は、市が負担するべきとの意見も あった。	現状のま ま継続	・防犯灯の新規設置及び取替設置要望につい ては、防犯意識の高まりから、申請団体数だけ ではなく補助要望基数も増えていることから、現 状のまま継続したい。 ・安全安心なまちづくりのために、これからも自 治会等の設置要望に十分配慮しながら事業を 進めていきたい。 【増額の理由】 ・防犯灯設置について市民団体からのニーズが 高く、設置要望に対応するため。	5,400	8,000	2,600	0	2,600

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
12	アイ課	地区コミュニティ活性化事業補助金	他の補助金との統合:見直しの上で継続	・他課と連携し、ビジネスコース希望者に対しての経営指導や現在も続いているコミュニティビジネスの成功事例を紹介する取組などを検討されたい。 ・審査において、成果が見込めるようなものか、費用対効果、継続性など精査されたい。	補助内容の改善:見直しの上で継続	・コミュニティビジネスに取り組んでいる事例発表を地区コミ会長会議等で検討したい。 ・ビジネスコースは1年目・2年目の地区コミュニティ協議会があり、来年度以降も事業継続に対する意欲が高いため、継続したい。 ・関係機関と連携して支援体制を強化していきたい。 【減額の理由】 ・来年度以降のビジネスコースを要望する地区コミ数が減ったため。	12,000	10,000	▲ 2,000	0	▲ 2,000
13	環境課	火葬料差額助成金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・遺族の負担軽減のため必要であり、申請件数も増加している。 【増額の理由】 ・近年の申請件数が増加傾向にあり、平成28年度においては、予算不足となり補正等により対応している。平成29年度当初予算は申請件数の増加を見込み増額したもの。	195	300	105	0	105
14		川内汚泥再生処理センター対策委員会運営補助金	補助内容の改善:見直しの上で継続	・地元との覚書に基づき、支出面の改善をされたい。 ・補助内容について、他の地域住民から評価され、理解が得られるような環境美化活動などを検討されたい。	補助内容の改善:見直しの上で継続	・補助内容について、事業の要件及び対象を他の地域住民から評価・理解が得られるよう見直しを行い対策委員会との調整を図りたい。	450	450	0	0	0
15		高度医療機器整備補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・平成29年度は対象事業なし。	50,000	0	▲ 50,000	0	▲ 50,000
16		川内地域一次救急医療運営補助金	現状のまま継続	・コンビニ受診の比率を下げるよう努力されたい。	現状のまま継続	・特になし。	4,498	4,498	0	0	0

補助金番号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の改革の方向性	意見	見直し方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
17-1	市民健康課	救急医療施設等運営補助金(病院群輪番制)	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	【増額の理由】 ・いちき串木野市の負担分は、国勢調査の人口割で算出しているが、国調人口が減少したため、いちき串木野市の負担分が減額となり、その分本市補助金が増額となった。	24,445	24,640	195	0	195
17-2		救急医療施設等運営補助金(共同利用型)	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし。	6,004	6,004	0	0	0
18		小児救急医療支援体制運営補助金	現状のまま継続	・特になし。	拡大:見直しの上で継続	【増額の理由】 ・医師確保の困難さやコンビニ受診増加により、小児救急医療体制の堅持が困難なことから、補助金等交付要綱を改正し増額するもの。	4,258	6,387	2,129	2,129	0
19		薬局休日当番事業補助金	現状のまま継続	・毎年の開局延べ日数や処方せん枚数の実績から「現状のまま継続」が適当だと評価する。	拡大:見直しの上で継続	【増額の理由】 ・救急医療体制の堅持のため、休日における開局運営の支援を強化すべく、補助金等交付要綱を改正し増額するもの。	200	400	200	200	0
20		周産期医療等運営補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし。	10,000	10,000	0	0	0
21		残薬整理事業支援補助金	補助内容の改善:見直しの上で継続	・お薬手帳カバーに対する補助の可否について検討されたい。 ・お薬手帳の必要性から、利用率向上を図られたい。	縮小:見直しの上で継続	【減額の理由】 ・補助金評価の結果を受け、お薬手帳のカバーへの補助の可否について、課内で協議した。 その結果、お薬手帳カバーへの補助については、有益性が低いと判断し、平成29年度当初予算の積算から、当該要素を排除した。	400	200	▲ 200	▲ 200	0

補助金番号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の改革の方向性	意見	見直し方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
22	障害・社会福祉課	民生委員児童委員協議会連合会運営補助金	現状のまま継続	・評価表における成果指標と交付要領における効果の測定との内容の合致に努められたい。	現状のまま継続	・補助金の効果に係る測定指標は、交付要領に基づくものとし、成果指標は、②を①として残し、①は削除することとしたい。 【増額の理由】 ・民生委員制度100周年に伴い、国及び県で開催される式典への参加に伴う旅費等の増額(平成29年度限り)	2,264	2,704	440	0	440
23		遺族会運営補助金	縮小:見直しの上で継続	・特になし。	縮小:見直しの上で継続	・特になし。	200	200	0	0	0
24	子育て支援課	放課後児童クラブ運営補助金	拡大:見直しの上で継続	・児童の保護者に対し、放課後児童クラブについてのアンケートを実施し、満足度向上に努められたい。	拡大:見直しの上で継続	・アンケート調査を市主体で11月に実施(週1回以上利用者)した。回収率は88.5%で調査結果は、児童クラブ毎に集約したものを12月中旬に各児童クラブに配付し、今後の運営に反映していただくようお願いした。 【増・減額の理由】 ・児童クラブ数の増及び障害児受入児童クラブの増による増額。また、補助金見直しにより、市単独分の全体額を減額した。なお、小規模児童クラブに重点的に配分する予定。	114,274	144,991	30,717	▲ 6,100	36,817
25	高齢・介護福祉課	特別地域加算利用者負担額軽減事業補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし。	600	600	0	0	0
26		甌島地域訪問介護利用促進事業補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし。	1,300	1,300	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
27	農政課	農 業 公 社 運 営 補 助 金	現状のまま継続	・市と北さつま農業協同組合の補助割合について、概ね3年以内の見直しを検討されたい。	現状のまま継続	・現在、公益社団法人薩摩川内市農業公社では、農地利用集積円滑化事業、研修事業、農作業受委託事業の3事業を展開することで、農家負担を軽減し、本市の農業振興に寄与している。 ・補助割合は、両者で3年ごとに見直すこととしたい。	6,000	6,000	0	0	0
28		環 境 保 全 型 農 業 直 接 支 援 対 策 事 業 補 助 金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・今後も、環境保全型農業に取り組む生産者を支援するために、国の制度を活用し、事業の展開を図りたい。 【減額の理由】 ・新規に取り組む農家の対象面積(見込み)の減。	1,092	1,082	▲ 10	0	▲ 10
29		甌 農 産 物 地 産 地 消 促 進 補 助 金	現状のまま継続	・販路先を固定化せず、農業を営んでいる者が個別に販路先を開拓するなど自助努力されたい。 ・消費者ニーズにあった農産物に取り組むなど、生産品目の幅を広げられたい。	拡大:見直しの 上で継続	・現在、甌島地区の土壌、気候に合った品目として、ジャガイモ、タマネギ等の栽培を奨励し、安定販売のために契約販売を行っている。今後、生産量の拡大とともに、更に販路拡大にも取り組みたい。 ・既存品目のほかに、甌島地区の土壌、気候に合う品目の選定、試作等に取り組んでいきたい。 ・なお、今後、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の導入を検討したい。 【減額の理由】 ・過去の実績や財政運営プログラムの方向性(縮小)を踏まえ減額した。	800	760	▲ 40	0	▲ 40
30		子牛預かり施設管理 事業運営補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・農家の管理軽減・子牛の商品性向上を図る上で大変重要な施設であり、JA・市町・農家の負担割合で実施する事業であることから、三者一体となって今後も事業継続していきたい。	2,350	2,350	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
31	畜産課	飼料専用イネ実証展示圃場設置事業補助金	廃止	・特になし。	廃止	・平成26年度から平成28年度までの3年間の期間限定の事業であり、一定の効果を得られたため。 【減額の理由】 ・事業の廃止によるもの。	600	0	▲ 600	0	▲ 600
32		特別農協有牛導入等事業利子補給金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・規模拡大を目指す農家の金利負担を軽減するための制度であり、貸付利率の変更等を考慮しながら今後も支援を続けたい。 【減額の理由】 ・貸付額の減によるもの。	2,429	1,350	▲ 1,079	0	▲ 1,079
33		こしき地域生産農家支援事業補助金	現状のまま継続	・奄美群島振興特別措置法では、農林水産物に係る輸送費を全額補助していることに鑑み、国会議員など関係者と連携を図り、有人国境離島法を活用した補助率を検討されたい。	現状のまま継続	・餌地域の特性、農家の経営状況、肉用牛情勢を見極めながら事業を継続したい。 平成28年度に事業検討を行い新規メニューを追加した。 【増額の理由】 ・全体額は増となったが、「航送料補助」について、平成29年度施行の有人国境離島法活用による財源充当を検討している。現行事業との比較検討を行い、全体的な調整を図りたい。	978	1,180	202	202	0
34		内水面資源回復事業補助金	補助内容の改善：見直しの上で継続	・漁獲量の推移、漁協組合員の数・年齢、漁協の将来展望等を調査・把握し、本事業の有効性・必要性を検証する必要があるとの意見もあった。	現状のまま継続	・全国的にウナギ稚魚が激減している中、県内有数のシラス漁場である川内川においても、川内市内水面漁協が資源回復に向けて継続的に取り組む放流活動のための支援は不可欠である。 (川内川白浜橋下流域)	1,300	1,300	0	0	0
35		養鰻振興事業補助金	補助内容の改善：見直しの上で継続	・川内産ウナギとしてのブランド化に向けた取組に努められたい。	現状のまま継続	・本市養鰻振興協議会が継続的に取り組んでいる放流活動、販路開拓の宣伝、研修視察等を支援することで川内産ウナギの更なる周知とブランド強化を図りたい。	180	180	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるも の	その他の要因 によるもの
36	林務水 産課	豊かな海づくり広域 連携事業補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま 継続	・全国的に取り組んでいる水産資源の持続的利 用に向けた放流活動など、水産振興のために支 援は不可欠である。	1,846	1,846	0	0	0
37		川内川漁業協同組 合放流事業補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・漁獲量の推移、漁協組合員の数・年齢、漁協 の将来展望等を調査・把握し、本事業の有効 性・必要性を検証する必要があるとの意見も あった。	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・漁獲量が年々減少する中、川内川中流域にお いて、アユ等の資源回復のために川内川漁協 が継続的に取り組む放流活動について沿川自 治体の共同支援が求められている。 (川内川白浜橋上流)	200	200	0	0	0
38		甌島水産促進補助 金	現状のまま 継続	・本土に住所を有する者も補助対象者に含める よう検討されたい。	現状のまま 継続	・当該補助制度は、本土に比べ漁業経営的に厳 しい甌島漁業者を対象に支援しているところ である。 ・本土地域漁業者への支援策については、必要 に応じて検討してまいりたい。 【減額の理由】 ・来年度からは補助要望者の有無に応じて予算 計上することとした。	1,000	0	▲ 1,000	0	▲ 1,000
39		水産物消費拡大事 業補助金	縮小:見 直しの 上で継続	・業務内容の改善や自主運営の努力により自己 資本の比率を高め、廃止を見据えた補助金の削 減を行う必要がある。 ・魚食普及について、既存の慣例にとらわれず、 消費者などを含めた幅広い議論により、有効な 手立てを検討されたい。	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・川内とれたて市場が整備されたことに伴い水 産物の地元消費拡大は周年ベースの取り組み が出来ようになった。 今後は川内市漁協、甌島漁協が消費者に向 けた事業展開が期待されるところである。 活動の内容を判断しつつ事業規模を判断した い。 【減額の理由】 ・事業見直しのため。	3,000	2,600	▲ 400	▲ 400	0
40	耕地課	薩摩川内市土地改 良区補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・繰越金や役員手当の適正化に努め、事業に重 点を置かれたい。	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・土地改良区全般の諸問題について、研究グ ループを立ち上げ事務改善に取り組み中であ る。	17,350	17,350	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるも の	その他の要因 によるもの
41	商工政 策課	中小企業対策利子 補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・評価表における成果指標と交付要領における 効果の測定との内容の合致に努められたい。	現状のま ま継続	・平成27年に補助率を100%から70%に見直 し。 ・今回は補助率の変更は実施しないが、今後の 景気の動向等により補助率の見直しを検討す る。 【減額の理由】 ・平成27年度に実施した補助率の減に伴う実績 の減によるもの。	73,000	66,000	▲ 7,000	0	▲ 7,000
42		緊急保証制度保証 料補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・国の制度に応じて、見直しをされたい。	現状のま ま継続	・国指定業種も縮小され、緊急保証制度による 融資実績も減少しており、実績から予算減額を 実施。 【減額の理由】 ・平成27年度に実施した補助率の減に伴う実績 の減によるもの。	1,000	500	▲ 500	0	▲ 500
43		中小企業元気づくり 補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・本事業を活用することにより、社員教育を徹底 し、本市の技術力、熟練度及び専門性の向上に つながるよう、引き続き努力されたい。	他の補助 金との統 合:見直 しの上で 継続	・対象事業中「女性人材育成支援」を単独補助 金化し、対象事業を縮小。社員研修による技術 力向上への支援に加え、意匠登録や特許取得 に対する支援を行う事での企業支援を実施して いく。 【増額の理由】 ・女性人材育成支援を別事業化したが、それ以 外の支援については、昨年度実績及び来年度 の事業促進から増額。	3,400	3,500	100	0	100
44		中心市街地テナント ミックス支援事業補 助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・役員報酬や給与に充てられている経費の節減 に努め、本補助金の用途を明確にされたい。 ・市、関係機関等一体で市街地活性化に取り組 み、国道3号を含めた空き店舗解消に努め、街 が明るくなるような成果を上げる努力をされたい。	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・補助率の見直しを実施することで、テナント1階 部分への出店を強化し、賑わいの創出を図る。 人件費等の経費については、精査を行っていく。 【補助上内容の見直し】 1階部分 補助率 2／3 月額上限7万 2階部分 補助率 1／2 月額上限6万 (※ 現状は一律 補助率2／3 月額上限10 万)	20,543	20,543	0	0	0

補助 金番 号	課 所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
45	交通貿 易課	川内駅おもてなし事業補助金	廃止	・今後、本市の特産品や民間の商品を振る舞うなど民間活用につなげ、地元や学校を巻き込んだ観光PRといった多様な展開を複合的に進められたい。	廃止	・事業開始後3年を経過し、一定の成果は得られたと考える。	244	0	▲ 244	▲ 244	0
46		民間路線バス運賃差額補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし。 【増額の理由】 ・実績見込みによる見直し。	880	1,000	120	0	120
47		甌島航路フェリー代船事業補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし。	3,600	3,600	0	0	0
48		甌島航路離島住民運賃割引補助金	現状のまま継続	・本土に住所を有する者も補助対象者に含めるよう検討されたい。	現状のまま継続	・他自治体の補助スキームを参考に研究したい。	4,250	4,250	0	0	0
49		甌島航路高速船維持補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし。 【減額の理由】 ・実績見込みによる見直し。	3,000	1,000	▲ 2,000	0	▲ 2,000
50		シティセールス海外プロモーション支援補助金	現状のまま継続	・補助対象者の範囲拡大の検討や補助金の周知徹底に努め、制度の活用を図られたい。	現状のまま継続	・周知方法等について検討し、制度活用がなされるように取り組んで参りたい。 ・予算規模については現状で進めていきたい。	300	300	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
51	観光・シ ティセー ルス課	薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会運営補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・修学旅行などのトレンドを見極めながら、グリーン・ツーリズム推進協議会の将来的な自立に取り組まれない。 ・受入れ料を主体とした経営努力を促し、補助金の削減に努められたい。	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・修学旅行受入れの取組の他に、体験活動の充実による新規事業などへの積極的な取組についても実施できるよう協議会とも協議しながら進めている。	4,000	4,000	0	0	0
52		いむた池外輪山七峰登山大会補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・蘭牟田池の外輪山に特定するのであれば、「ラムサール条約に登録されている蘭牟田池」など特色を生かされたい。 ・協賛金等の創設により、自主財源の確保に努められたい。	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・蘭牟田池の自然を体感できるレジャーイベントとして広く周知していくことを事務局に要請した。 ・今後、自主財源確保のための協賛金獲得等に積極的に取り組むよう話を進めていきたい。	300	300	0	0	0
53		海水浴場運営費補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・出店者の負担の在り方を見直し、会計の透明性を高めると同時に、会員数を増やす努力をされたい。	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・会員の負担の在り方や会計の透明性の向上について、事業主体に指導、併せて会員数拡大への取組推進についても要請した。海水浴場の振興を踏まえ、今後も、継続した連携を図りたい。	1,600	1,600	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
54	市民ス ポーツ課	体 育 協 会 運 営 補 助 金	現状のま ま継続	・4年後の国民体育大会やオリンピックに向け て、既存の慣例などにとらわれず、実効性のある 取組をされたい。 ・加盟団体を増やし、組織の強化を図りたい。	現状のま ま継続	・市民の健康維持・増進及び生涯スポーツの促 進並びに競技力の向上などスポーツ振興の一 翼を担っており、継続発展させる考えであり、今 後も補助を継続する。 ・4年後の国民大会、オリンピックに向けて、競 技力の向上はもとより、大会事前合宿誘致など を当協会と連携して取り組み、加盟する競技団 体を中心に更なる活動の展開を推進する考えで ある。 ・加盟団体数については、加盟可能な絶対数か ら増加は難しいと見込んでいる。 【減額の理由】 ・前年実績を勘案した必要補助金額の減額。	18,264	18,000	▲ 264	0	▲ 264
55		スポーツ少年団運営 補助金	現状のま ま継続	・スポーツ少年団の優位性を周知し、加入促進 を図られたい。	現状のま ま継続	・青少年の健全育成及び体力の向上に必要な不 可欠なことから、今後も補助を継続する。 ・スポーツ少年団加盟の広報活動等を行うととも に、各単位団体においては、更なる新規団員の 加入促進の取組を行っていただく考えである。 【減額の理由】 ・富山県魚津市との国内交流事業の費用が受 入側となることで減少するため(前年度は魚津 市へ派遣)	2,350	1,850	▲ 500	0	▲ 500
56		スポーツ振興補助金	現状のま ま継続	・学生や一般などの区分に応じた補助率の見直 しを検討されたい。	現状のま ま継続	・競技力向上及びスポーツの普及振興に寄与す ることから今後も補助を継続する。 ・補助の見直しは、直近では平成26、27年度に 補助率の変更や補助限度額の設定などを行っ ている。また、小・中学生、高校・一般の区分に 応じた宿泊費の単価設定を行うとともに、中学校 体育連盟主催大会については、補助率を高く設 定している。	10,000	10,000	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるも の	その他の要因 によるもの
57		川内川を生かしたスポーツ推進事業補助金	補助内容の改善: 見直しの上で継続	・認知度向上のため、公認に向けた参加料やコースレイアウト等の見直しを検討されたい。 ・寄付金や広告宣伝など民間活力の導入を図られたい。	現状のま ま継続	・市民の健康維持・増進並びに県内外からの参加者による交流人口の増加や地域活性化に繋がっており、今後も補助を継続する。 ・マラソン・ウォーキングそれぞれのコース設定により幅広い世代からの参加を得ているところがあるが、今後さらに魅力ある大会として継続するため、アンケート調査等をもとに、コース・参加料・公認コースの設定等引き続き検討したい。 ・これまでも寄付金や広告宣伝など民間の支援、協力を得ているが、より一層の取組を推進する考えである。	1,400	1,400	0	0	0
58		全国市町村交流レガッタ大会派遣補助金	現状のま ま継続	・歴代参加者が、練習方法や戦略等を話す交流機会を設け、成績上昇など次のステップにつながるような取組をされたい。	現状のま ま継続	・被補助団体の市ボート協会は、川内レガッタを自助努力で主催している団体であり、早慶レガッタの開催、全国市町村交流レガッタ大会への派遣など市民へのレガッタ普及の取組を積極的に行っている。このことから、この取組を継続的に実施していただくため、補助を継続する。 ・本大会は、ボート場所在市町村の交流を目的とする大会で、レガッタの正式競技者のみが参加するものではないが、大会出場者が得た経験などを披露する機会の設定について、市ボート協会と協議したい。 【増額の理由】 ・全国市長村交流レガッタ大会の開催地による派遣旅費の増額(前年度:埼玉県 今年度:秋田県)	330	704	374	0	374
59		スポーツ合宿支援サポーター制度補助金	現状のま ま継続	・特になし。	現状のま ま継続	・合宿誘致をする上で必要な支援であり、合宿団体数の増加に寄与しているため、補助を継続する。	300	300	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるも の	その他の要因 によるもの
60	建設政 策課	川内市街部改修促 進期成会補助金	現状のま ま継続	・特になし。	現状のま ま継続	・要望活動により、事業は順調に進捗している が、大小路地区、天辰Ⅱ地区の整備が残されて おり引続き要望活動を行っていく必要がある。 また、事業予算確保のため、事業主体からも 継続的な要望活動について協力を依頼されてい る。 【増額の理由】 ・期成会の翌年度への繰越金が前年度より減額 となる見込みであり、平成29年度の活動経費を 確保するため、増額するもの。	418	436	18	0	18
61	建築住 宅課	危険廃屋等解体撤 去促進事業補助金	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・市内外を問わず、補助金の周知徹底を図られ たい。 ・本補助制度、空き家等対策特別措置法及び薩 摩川内市空き家等対策の推進に関する条例を組 み合わせて、廃屋等に対する撤去の指導、勧告 を進められたい。 ・廃屋の解体に対する緊急性の状況や補助対 象者の所得に応じた対象者の絞り込みを検討さ れたい。	補助内容 の改善: 見直しの 上で継続	・市内の空家一斉調査の結果により、危険性 のある物件に該当するとの判断がなされた場合 には、市外、県外を問わず所有者や管理者に 対し、補助事業の周知徹底を図る予定である。 ・平成28年度、県で策定がすすめられている 「(仮称)市町村実務者向け空家対策ガイド ブック」を参考に今後、特定空家等への指導を 行っていくこととなる。それらの解決の一手段 として、本事業に取り組むこととしている。 ・どの物件も周辺に影響を及ぼす緊急性が高い ものであり、緊急性の優劣や順位を付け難い状 況である。また、所得に応じた絞り込みを行うと、 真に緊急性の高い物件が、補助金を利用できな いことを理由に放置される懸念もあることから行 わない方向で検討している。 【増額の理由】 ・薩摩川内市空家等対策計画に基づき、市内の 空家の一斉調査が行われることにより、相談件 数等が増大するものと考えられる。また、平成2 6年度からの実績を勘案し増額としたものであ る。	8,850	18,900	10,050	0	10,050

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
62	警防課	消 防 団 車 庫 詰 所 運 営補助金	廃止	・特になし。	廃止	・特になし。	24	0	▲ 24	▲ 24	0
63		消 防 団 分 団 運 営 補 助 金	現状のまま継続	・消防団への支援の仕組みについて、全体的な調整・検討が必要である。	現状のまま継続	・消防団への支援の仕組みについて、国及び県並びに地域の支援方法を調査し、「消防団等充実強化法」の内容に照らし、消防団を中核とした地域防災力の充実強化につながるような施策や仕組みについて、継続的に検討を重ねることが重要である。	6,250	6,250	0	0	0
64	学校教	人 権 教 育 推 進 補 助 金	補助内容の改善： 見直しの上で継続	・社会情勢を見ながら活動内容を検討されたい。	現状のまま継続	・講演会等に地域住民の参加を呼びかけ、更なる啓発を図る。	120	120	0	0	0
65		小 学 校 体 育 連 盟 運 営補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・特になし	600	600	0	0	0

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
66	育課	学 校 保 健 会 運 営 補 助 金	現状のま ま継続	・特になし。	現状のま ま継続	・特になし	344	344	0	0	0
67		校外活動補助金	現状のま ま継続	・特になし。	現状のま ま継続	・特になし	1,200	1,200	0	0	0
68	社会教育課	青 少 年 育 成 市 民 会 議 運 営 補 助 金	現状のま ま継続	・特になし。	現状のま ま継続	・県民会議の下部組織として設置したものであり、自主財源の確保手段がないため。	815	815	0	0	0
69		子ども会育成連絡協議会運営補助金	現状のま ま継続	・特になし。	現状のま ま継続	・自主財源確保(会費を上げることが難しく、必要経費を補助する必要があるため。 【減額の理由】 ・調整方針に基づいた削減。	1,310	1,300	▲ 10	0	▲ 10

補助 金番 号	課所	補助金名	外部評価結果		補助金等の見直し方針(市長査定終了後)						
			今後の 改革の 方向性	意見	見直し 方針	見直し方針の理由 ／意見に対する回答等	予算額 (単位:千円)			差異の内訳 (単位:千円)	
							平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算内 示額	差異	補助金等見 直しによるもの	その他の要因 によるもの
70	文化課	文化協会運営補助金	補助内容の改善: 見直しの 上で継続	・若者が求めているカテゴリーを増やし、後継者の育成に取り組みながら会員増を図られたい。 ・決算書及び関係書類の内容把握や分かりやすい表記に努められたい。	拡大:見 直しの 上で継続	・補助金に対する各支部の関係書類の記載について、本部役員に対し指導を実施。各支部委員にも徹底するよう指導。 【増額の理由】 ・これまで各支部の活動に対する補助金としていたため、本部自体の活動に対する予算がない。本部の活動補助として見直しを実施。	1,550	2,000	450	450	0
71		少年少女合唱団運営補助金	現状のまま継続	・特になし。	現状のまま継続	・本合唱団は、定期公演をはじめ、市の事業を含む様々なイベント等で活発に活動している。今後も様々な角度から支援することとしたい。	57	57	0	0	0
72		市民まちづくり公社文化事業推進補助金	補助内容の改善: 見直しの 上で継続	・事業収入増につながるような出演者を検討されたい。	補助内容の改善: 見直しの 上で継続	・平成28年度から川内文化ホールと入来文化ホールの指定管理者となっており、平成29年度は入来文化ホールを活用したイベントも検討している。入来文化ホールでもイベント等を行うことより、広く文化芸術を鑑賞してもらう機会をつくり、来場者増につなげることができるような計画をたてるよう指導。	4,000	4,000	0	0	0
73	農業委員会	農地流動化促進事業補助金	補助内容の改善: 見直しの 上で継続	・農地の有効利用が図られるよう、借り手のインセンティブを高められたい。	拡大:見 直しの 上で継続	・条件不利地の貸借に係る借り手の割増等のインセンティブを今後、検討していきたい。 【増額の理由】 ・農地等利用の更なる強化で実績増が見込まれるため。	8,500	9,000	500	0	500